

テレスコピックブーム付

日立油圧式アースドリル

TH55

低騒音/大口径・高深度掘削/狭隘作業各種

新製品

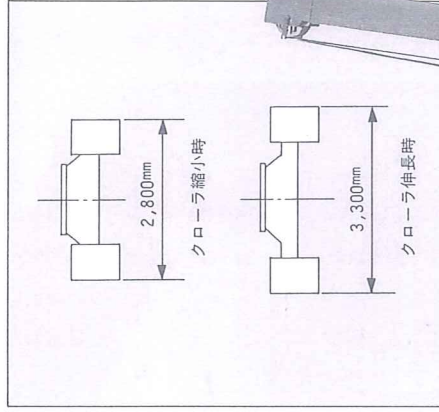


日立建機

狭い現場での作業が容易

●クローラ伸縮タイプ

クローラ縮小時2.8m、クローラ伸長時3.3mのクローラ伸縮タイプの採用で、間口の狭い現場でも容易に入れます。

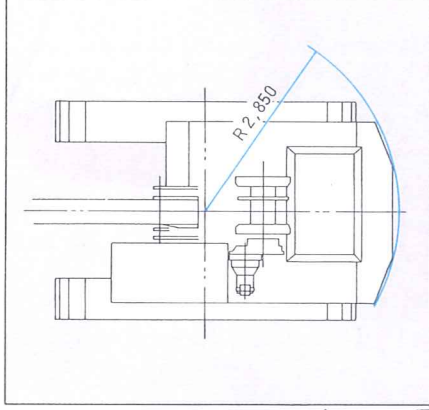


●優れた機動力

ブームは3段テレスコピックブームを採用。縮小時には8.15mと短く、移動時全長でも11.48mのコンパクトさで、機動力に優れています。また、クレーン仕様のブーム伸長時には20.05mと長く、クレーンの各種作業に優れた能力を発揮します。

●抜群の小まわり性能

後端半径2.85mの群を抜く小まわり性能に加えて、作業半径も小さく、全長で7.3m(短尺ケリーノブ付で7.1m、オプション)。よりコンパクトなボディを活かしての作業は狭い現場でもスムーズに、能率良く行なえます。



大きな作業能力

●力強いアースドリル能力

バケットの回転用油圧源には、可変容量型ポンプを採用。負荷の大きい硬土質を掘削したい場合には低回転で、負荷の軽い軟土質の場合には高回転になるように自動制御されているので、エンジン馬力が有効に活用でき、強力な掘削が得られます。

●大口径で深掘りが可能

一般土質で ϕ 1500mm、またスラムロッド使用時(オプション)で40mまで掘削できます。

最大掘削径

- 軟土質 ϕ 1700mm
- リーマナイフ使用時 ϕ 2000mm
最大掘削深度
- ケリーノブ使用時 30m
- パワフルなワインチ

バケット最大巻上力10t、補巻最大巻上力10tとパワフルなワインチを装着しています。

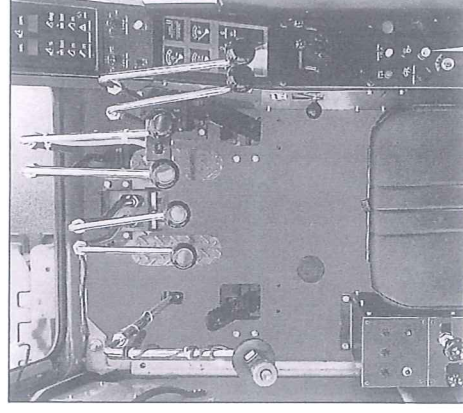
●4.9tの補助吊り上げ能力

アースドリルの施工に関連したスタンドパイプ、鉄筋、トレミー管の吊り込み作業ができます。

運転操作が容易

●合理的に配置されているレバー・計器類

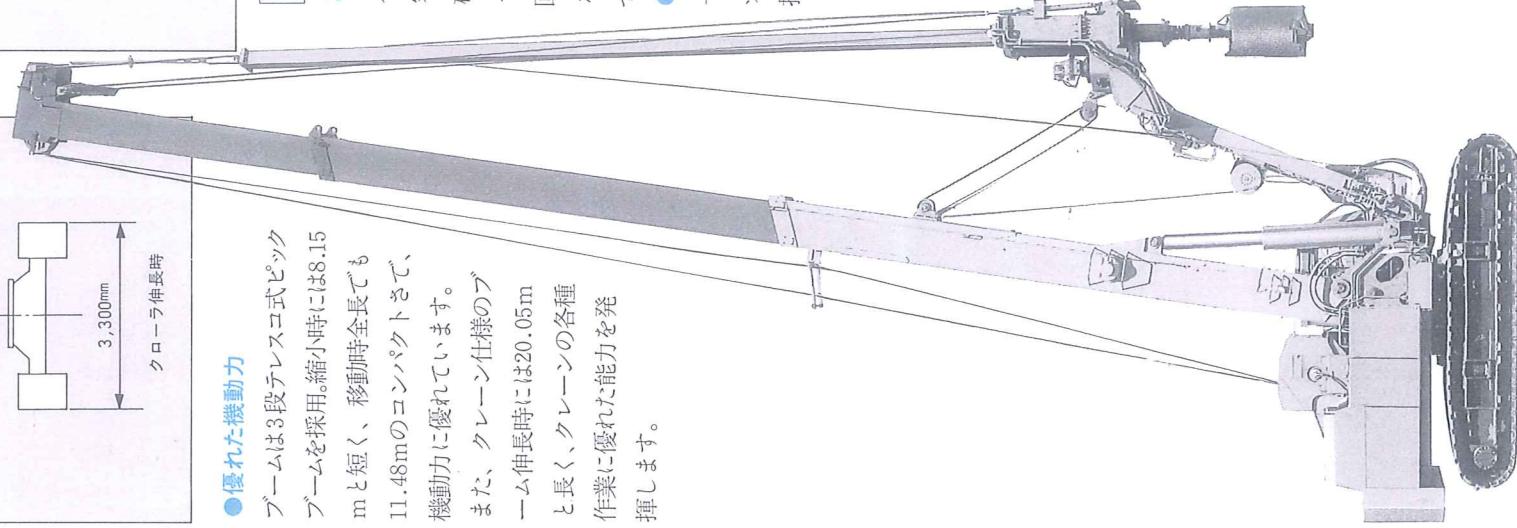
操作レバーは合理的に配置され、無理のない姿勢でラックに運転できます。また、計器類は右サイドにコンパクトにまとめ



機

アースドリルとクローラクレーンの機能をこの一

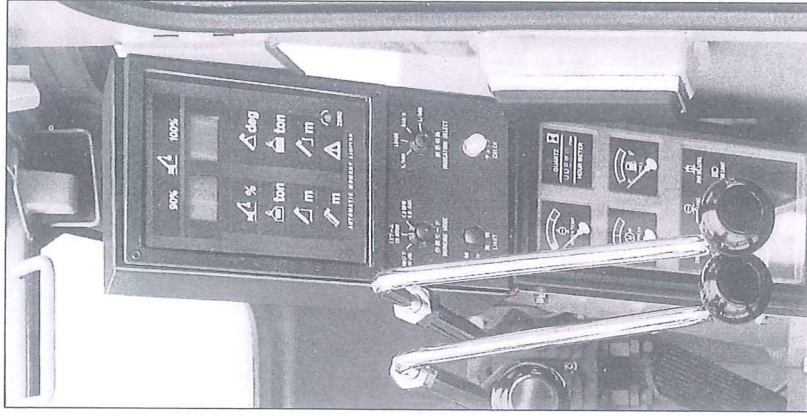
利用価値の高い製品と取組む日立建機では、このほどアースドリルとクローラクレーンを一台に結集して、多目的に活用できるTH55を開発しました。最大掘削径 ϕ 1,700mm、最大掘削深度40m、最大定格荷重18t \times 3.0m(クレーン仕様、オプション)など基本性能の優秀さに加えて、クローラが伸縮するうえテレスコピックブームも採用、本体をよりコンパクトに納めることで、狭い現場で



クローラクレーンとしても使用可能

●力強くねばり強いクレーン能力

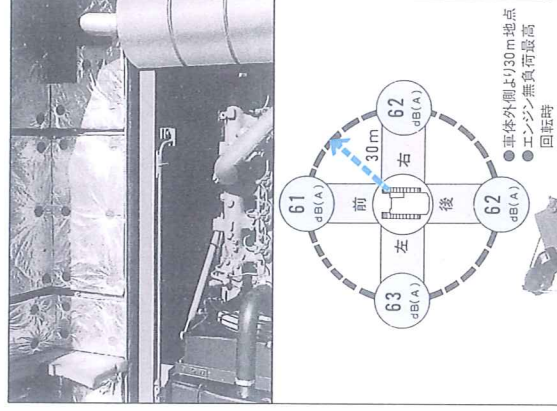
アースドリルアルタタッチメントを取りはずすとクレーンとしても使用できます。最大地上揚程18mの高揚程作業に加えて、最大定格荷重18t（作業半径3.0m時）、補助ジブ使用時最大定格荷重5tと、力強くねばり強いクレーン能力を発揮します。また、クローラクレーンには最先端の安全装置“モーターリミッター”がオプションとして装着できます。



数々の先進機能を満載（標準装備）

●低騒音仕様

油圧駆動方式を採用しているため、騒音の発生源が少なく、夜間や住宅密集地でも円滑に作業が進められます。



●バケット回転制御装置

バケット回転制御レバーの操作により、バケットの最高回転数が無段階で選択できます。これによりエンジン回転数を落とさずに、軽負荷であっても低い回転数でバケットを回転させることができ、掘削刃を地盤に喰い込ませて強力な掘削が行なえます。また、この装置はバケット回転制御以外の作業にも使用でき、通常の作業速度の100～20%の範囲で無段階に速度を調整できます。このため、芯合わせ作業や高度なインテンシブ操作が容易に行なえます。

●旋回ロック

旋回ロックは全周6カ所に取り付けてあり、作業の向きに応じてロックでき、安全性を確保しています。

分解・組立・現場搬入が容易

●3mの道幅で搬入が可能

ブームを縮めクローラを縮小すれば全長11.48m、全幅2.8mとなり、現場搬入が容易、搬入後は迅速に、しかも自力で作業姿勢にすることができるので、ロスがありません。

作業能率を高めるオプション

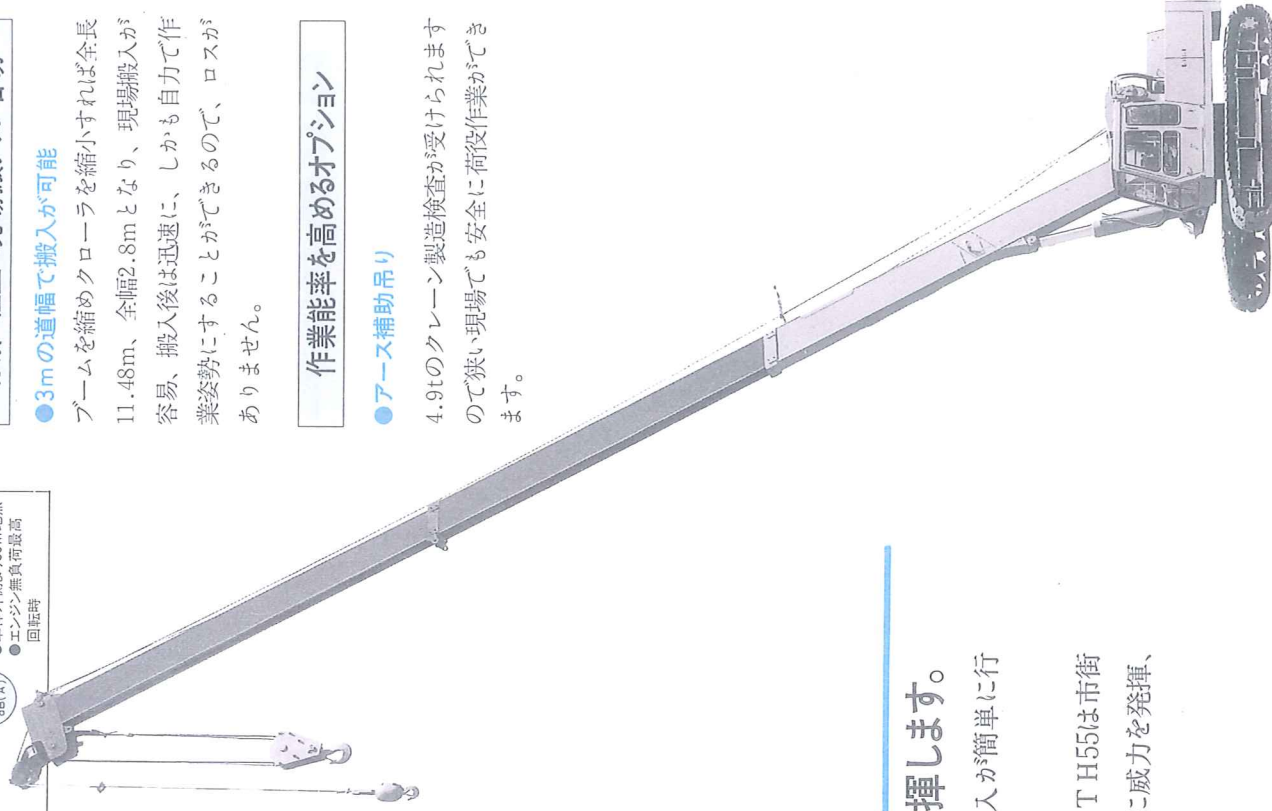
●アース補助吊り

4.9tのクレーン製造検査が受けられますので狭い現場でも安全に荷役作業ができます。

当千。

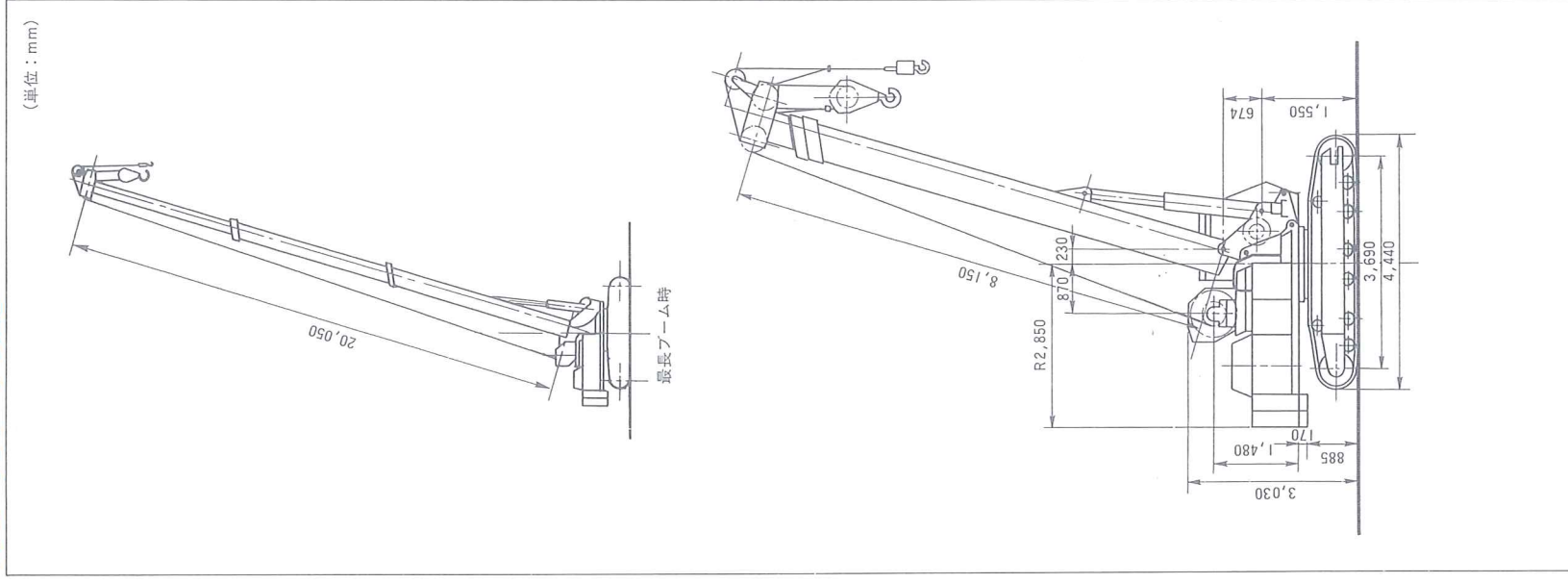
結集。狭い現場で、多目的に能力を発揮します。

の作業が能率良く実現します。分解・組立・現場搬入が簡単に行なえるのも大きな特長です。都市再開発の作業が狭い現場でも増えてきた今日、TH55は市街地でのそんな現場で建築基礎工事をはじめ各種作業に威力を発揮、これからの時代に適した油圧式アースドリルです。



高揚程作業で差をつけるクローラークレーン。 スペックがそのすべてを明らかにしています。

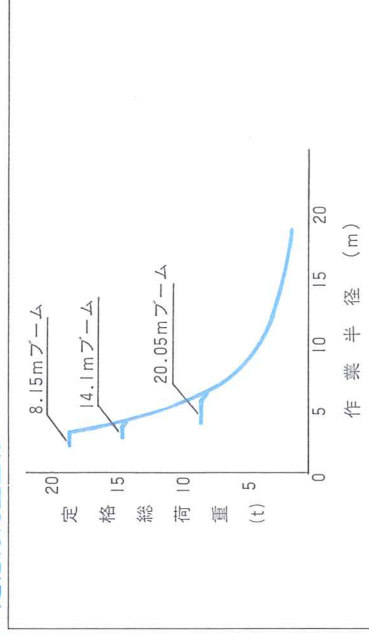
●クローラークレーン寸法図



●クレーン仕様

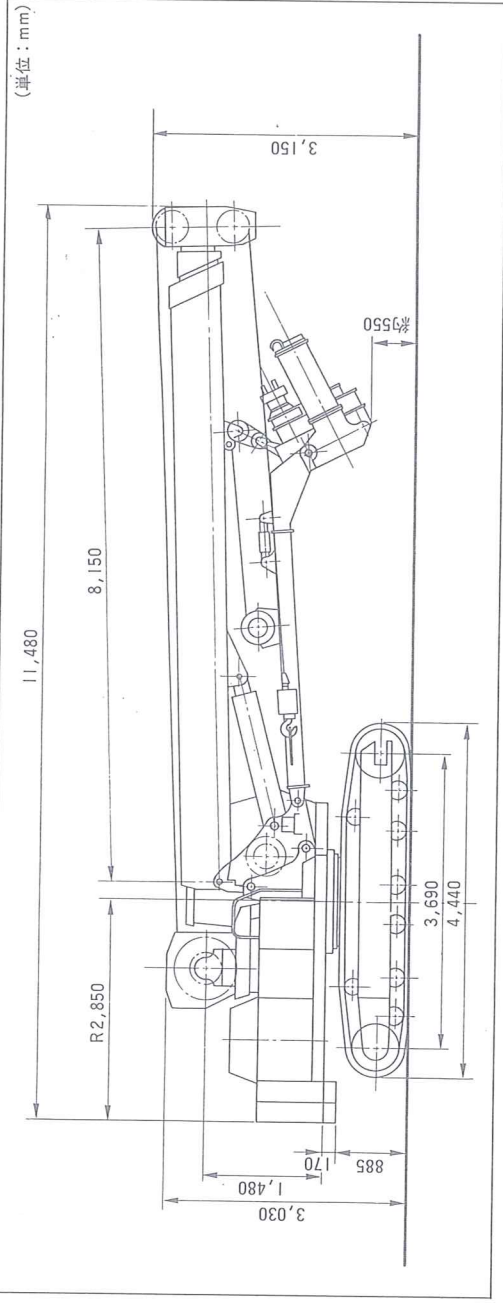
| | | |
|-------------------|-----------------------------|---------------------|
| 最大つり上げ能力 (t×m) | 主 巻 補 巻 | 18.0×3.0 5.0×7.5 |
| 最大地上揚程 | 巻 程 (m) | 18 |
| 最大作業半径 | 巻 径 (m) | 18 |
| アーム長さ | 巻 長さ (m) | 8.15~20.05 |
| アーム起伏角 | 巻 伏 角 (度) | 81 |
| 作業速度 | 主 巻 上 (m/min) | 高速/低速：74/37 |
| | 主 巻 下 (m/min) | 高速/低速：74/37 |
| | 補 巻 上 (m/min) | 高速/低速：74/37 |
| | 補 巻 下 (m/min) | 高速/低速：74/37 |
| アーム起伏 | 巻 伏 (度/sec) | 80/40 |
| アーム伸び | 伸 ば し (m/sec) | 20.05/60 |
| 旋 回 | 回 回 (r.p.m.) | 3.0 |
| 走行速度 | 速 度 (km/h) | 1.2 |
| 原 動 機 | メーカ-型式 | いすゞ6BDIT |
| 定格出力 | 定 格 出 力 (PS/r.p.m.) | 120/1,950 |
| 全 装 備 重 量 | 重 量 (t) | 約28 |
| 平均接地圧 | 接 地 圧 (kg/cm ²) | 0.57 |

●定格総荷重曲線



大口径、高深度のアースドリル。スペックが高性能のすべてを語っています。

● 走行姿勢図

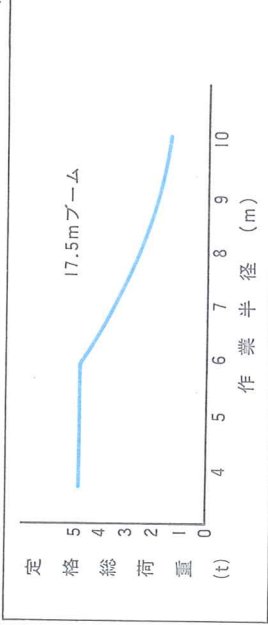


● アースドリル仕様

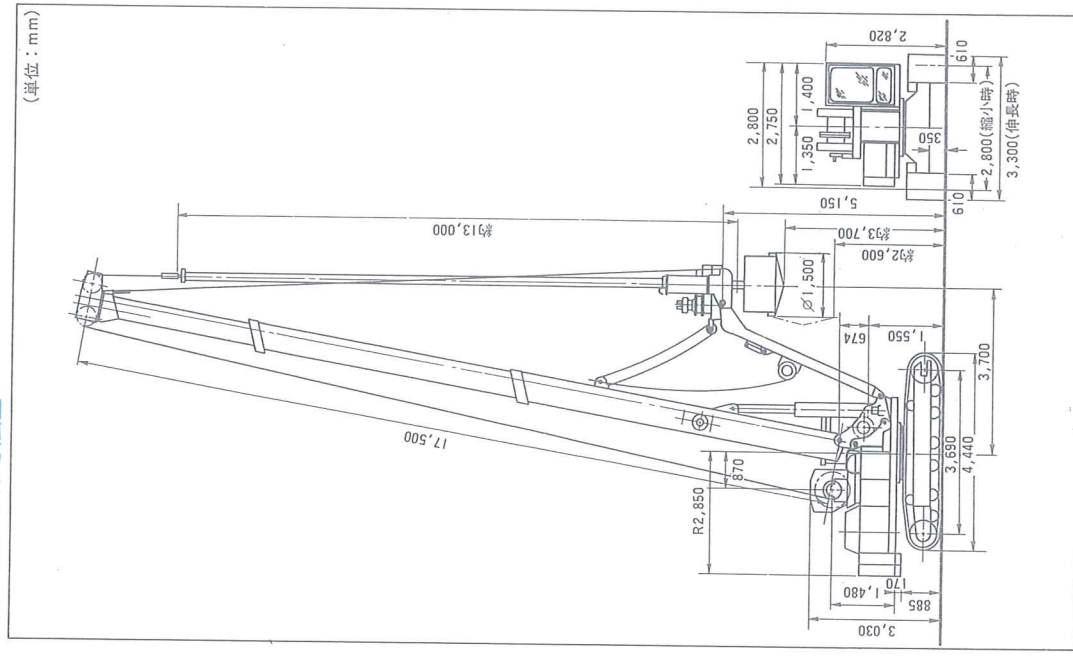
| 本体形式 | TH65 | | |
|-----------------|---------------------------|-------------|-------------------|
| ブーム長さ | 17.5 | | |
| 最大掘削孔径 (φmm) | バケット使用 | 一般土質 | 1,500 |
| | リーマナイフ使用 | 軟土質 | ※1 1,700(ライトサービス) |
| 最大掘削深度 (m) | ケリーバ使用 | ※2 | 2,000 |
| | システムロッド使用 | | 30 |
| バケット回転トルク (t-m) | | | 40 |
| バケット最大巻上力 (t) | | 正転4.1 逆転5.1 | 10 |
| 補助吊り容量 (t) | ※3 | 4.9 | |
| 作業速度 | バケット回転 (r.p.m.) | ※4 高速/低速 | 30/15 |
| | バケット巻上 (m/min) | ※4 高速/低速 | 74/37 |
| | バケット巻下 (m/min) | ※4 高速/低速 | 74/37 |
| | 補助吊り速度 (m/min) | ※4 高速/低速 | 74/37 |
| ブーム旋回速度 (度/sec) | ブーム起伏 (度/sec) | | 80/24 |
| | 旋回 (r.p.m.) | | 3.0 |
| 走行速度 (km/h) | メーカー型式 | いすゞ6BDIT | 1.2 |
| | 定格出力 (PS/r.p.m.) | | 120/1,950 |
| 全装備重量 (t) | 重量 (t) | | 約35 |
| | 接地圧 (kg/cm ²) | | 0.71 |

注) ※1. ライトサービスとは、ローム腐、軟質シルト層 (N値30以下) における掘削を指します。 ※2. リーマナイフはスタンバイモード建設のための基本径を掘削する場合に使用します。 ※3. ブーム角度により異なります。なお「補助吊り作業」とは、アースドリル地上時のスタンバイ状態、ドリム管の吊り込み作業をいいます。 ※4. 負荷により速度変化します。

● アースドリル補巻定格総荷重 (ケーリーバ巻き込みバケットなし)



● アースドリル寸法図



ダウンザホールハンマー削孔図 (TH-55)

